

科目名	認知心理学 I
単位	1
教員名	小河 妙子
授業概要	認知は、感情や行動などとともに人間の心理学的理解において欠くことのできないものである。この授業では、人間の「こころ」の複雑さについて多面的に捉える力の獲得を目指す。
授業の目的・到達目標	<p>授業の目的: 神経科学と認知の重要な知見について、さまざまな視聴覚教材を用いて学ぶことによって、心理学の諸領域の研究手法および理論等を理解し、心理学的な観点から心身の諸機能について理解することを目指す。</p> <p>到達目標: 「人」と対する職業や立場に就く人として不可欠な知識および姿勢・態度のベースを身につけることができるようになること、さらに多くの場面で人が陥ってしまう人特有の認知的傾向を回避し、望ましい対人スキルのベースを築くことができるようになることを到達目標とする。</p>
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス, 認知心理学とは 2. 認知心理学の歴史と方法 3. 記憶のしくみ I: 感覚記憶, 短期記憶 4. 記憶のしくみ II: ワーキングメモリ, 長期記憶 5. 情報の検索と忘却, 日常認知 6. 概念と言語 I: 概念, カテゴリー 7. 概念と言語 II: 単語認知 8. 認知の制御過程 I: 注意, 自動処理と意識処理 9. 認知の制御過程 II: アクションスリップ, メタ認知 10. 知識と表象 I: 意味記憶, 概念的表象 11. 知識と表象 II: 語彙的表象, 手続き的知識 12. イメージと空間の情報処理: 画像的記憶, イメージと表象 13. 文章の理解 I: 意味の記憶表象, 文章記憶とスキーマ 14. 文章の理解 II: 意味論的処理 15. 総括 <p>定期試験をおこなう</p>
予習・復習	特になし
成績評価の基準	<p>評価方法 定期試験 70%, レポート課題を含む通常点 30%</p> <p>評価基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知心理学の研究対象とされる心の働きにどのようなテーマがあるのかを説明でき, 文章にまとめることができる ・認知心理学の方法論や現在までの歴史的背景を説明できる ・注意・学習・記憶・思考・言語などのそれぞれの領域におけるキーワードを説明できる
教科書	認知心理学 (New Liberal Arts Selection) 箱田裕司・都築誉史・川畑秀明・萩原滋著 有斐閣 (2010)
参考書	言語聴覚士のための心理学 山田弘幸編著 医歯薬出版
備考・その他	特になし

(この様式はシラバスとセットにしてホームページに掲載します)

東海学院大学「認知心理学 I」の受講を希望する学生にシラバスに記載されていない情報を提供します。

科目名	認知心理学 I
時間割	毎週木曜日 3時限目 13時30分開始 15時00分終了
初回の授業日	2018年 9月27日(木)
講義室	講義開始前に教務課(東キャンパス本館1階または西キャンパス1号館1階)にてお尋ねください。
注意事項	自動車・原付・自動二輪で通学する際は届出を行ってください。(自動車の場合は、届出の際に任意保険の写しが必要です。) その他、本学の学内規程に準じてください。
授業についての 問合せ	東海学院大学 教学部教務課 Tel: 058-389-2200
交通アクセス	下記リンクを参照してください。 http://www.tokaigakuin-u.ac.jp/access/